

# 毎月1点検運動

～みんなで減災対策～

12月テーマ

## 電気等ライフライン

徳島県内においても、平成26年12月の大雪により、県西部の山間地域で長期間の停電が発生しました。電気や水、ガスなどの燃料の途絶に備え、家庭では、懐中電灯や乾電池、カセットコンロなどの準備が有効です。事業所では、自家発電機の整備など必要な対策に取り組みましょう。

### 「ライフラインの途絶」を想像してみよう！

「オール電化」「プロパンガス利用」「都市ガス利用」「太陽光発電」など、東日本大震災のライフライン復旧実績から、我が家のウィークポイントを考えましょう。

東日本大震災のライフライン復旧実績

	発災当日	1日後	3日後	1週間後	3週間後	5週間後
電気	11%	52%	79%	96%		
水道	-	-	50%	66%	88%	99%
都市ガス	0%	-	-	9%	42%	99%

### いざというときに困らないため、今から備えよう！

#### 停電への備え

- ・懐中電灯、ヘッドライト、乾電池、ランタン、ラジオ
- ・充電器
- ・モバイルバッテリー

#### 断水への備え

- ・飲料水(目安: 3ℓ/1人1日×3日=9ℓ/1人)
- ・給水タンク(ポリタンク)、バケツ
- ・簡易トイレ、ポディシート、水のいらないシャンプー
- ・くみ置き水(風呂の残り湯など)

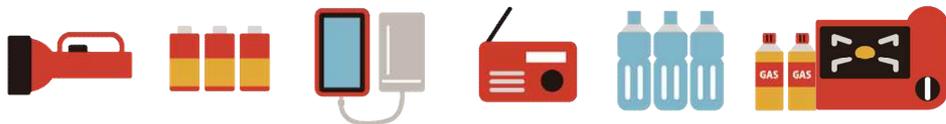
#### 電気・ガスが止まった時への備え

- ・石油ストーブ、灯油、使い捨てカイロ
- ・簡易コンロ、ガスボンベ
- ・ライター、マッチ

#### 通電火災に注意！

電気ストーブ、電気こたつ、アイロン等を使用したまま停電した場合、転倒してスイッチが入ってしまった場合などには、電力が復旧した際に「通電火災」と呼ばれる火事につながる場合があります。

- ・避難の際には、家のブレーカーを切りましょう。
- ・地震の揺れを感知し、自動的にブレーカーを落とす「感震ブレーカー」を設置しましょう。



#### とくしま災時記 (12月編)

1605(慶長9年) 12/16(旧暦) 慶長地震(東海・東南海・南海地震) M7.9  
 1854(安政元)年 12/24 安政南海地震 M8.4  
 1946(昭21)年 12/21 昭和南海地震 M8.0

1988(昭63)年 12/15～16 宍喰・海南町の山火事(60ha焼失)  
 2014(平26)年 12/5～6 県西部の大雪(約900市帯で孤立集落が発生)